

基本施策Ⅲ	関係者間の相互理解と協働の推進
施策の方向14	民間組織等との協働
具体的な取り組み	
(62)食品関係団体との連携	
①概要	食の安全安心に関する施策を推進するため、自主衛生管理の推進、消費者との意見交換会の開催、食品衛生責任者講習会等の事業について、愛媛県食品衛生協会と連携して実施するほか、食の安全安心に関する講習会や各種イベント等の開催にあたっては、飲食関連組合等の関係団体とも連携・協働して内容の充実や手法について検討し、参加者の増加に努めるなど、食の安全安心の確保を推進します。
②推進指標	食品衛生協会へ、自主衛生管理の推進等に関する事業について委託し、連携を図る。 また、他の関係団体との協働についても、食の安全安心に関するイベントの共催等、可能性を探る。
③用語解説	—

年度	(H20)	(H21)	H22	H23	H24	H25	H26
目標	—	—	—	—	9,500	—	10,000
実績	9,000	7,700	7,140	7,952	7,642	7,286	6,703

【食品衛生推進員巡回施設数】(松山市保健所分を除く)  
施設数の増加により協働活動促進の指標となる。

基本施策Ⅲ	関係者間の相互理解と協働の推進
施策の方向15	消費者・食品関連事業者との情報・意見交換の実施
具体的な取り組み	
(63)リスコムコミュニケーションの推進	
①概要	県内各地で開催し、リスコムコミュニケーションの推進を図ります。
②推進指標	食の安全・安心・県民講座を開催し、行政及び食品関連事業者の取組み紹介や参加者との意見交換を実施する。
③用語解説	—

年度	(H20)	(H21)	H22	H23	H24	H25	H26
目標	—	—	—	—	4回	—	5回
実績	3回	3回	5回	5回	5回	6回	5回
	278名	446名	727名	537名	537名	477名	568名

【食の安全・安心・県民講座の開催回数、参加者数】  
回数・人数の増加により活動充実の指標となる。

【リスコムコミュニケーション】  
消費者、事業者、行政担当者などの関係者の間で情報や意見をお互いに交換・共有するもの。

③用語解説	—
【平成26年度事業実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●食品営業自主管理強化事業費(松山市保健所分を除く)(業務衛生課)</li> <li>●県食品衛生協会と連携して、自主衛生管理の推進、消費者との意見交換会の開催、食品衛生責任者講習会等を実施し、食の安全安心に関する施策の推進を図った。</li> <li>●フードスタンプ(手指や調理器具等の汚染状況を調べるための簡易な細菌検査キット)による巡回指導(1,175件実施、うち478件陽性)を行った。なお、陽性となった施設には食品衛生指導員等が結果を伝え、注意喚起を行った。</li> <li>●消費者の一日食品衛生監視員事業による消費者と事業者との意見交換等(実施回数11回、参加者合計295名)</li> <li>●平成26年度食品衛生責任者講習会(実施回数64回、受講者数3,015名)</li> <li>●食中毒注意報発令時を含めた全体の巡回施設数は、H26:16,028件</li> </ul>
【平成26年度取組みの評価】	26年度も県食品衛生協会と連携して上記事業を実施し、自主衛生管理の推進等、食の安全安心に関する施策の推進に努めた。推進指標の「食品衛生推進員巡回施設数」は6,703件で、目標の2/3程度にとどまったが、これは通常時の数値であり、食中毒注意報発令時を含めると前年度を上回る16,028件で、時宜を得た指導を行うことができ、食品による健康被害の防止に寄与していると考えられている。 今後も引き続き連携して事業を実施し、食の安全安心の確保に努める。

③用語解説	—
【平成26年度事業実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●食の安全・安心推進事業費(業務衛生課)</li> <li>●県民の食品等への不信、不安を解消するため、県下5地方局・支局管内で食の安全・安心・県民講座を開催し、行政及び食品関連事業者の取組み紹介や参加者との意見交換を行った。</li> <li>●平成26年度食の安全・安心・県民講座の開催結果 (日程・参加者数) 11月5日 東予地方局 154名 11月10日 今治市民会館 82名 11月12日 南予地方局 82名 11月14日 八幡浜支局 86名 1月21日 男女共同参画センター 164名 (計 568名)</li> </ul> <p>【開催内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●愛媛県の取組み</li> <li>●食の安全安心に関する取組み及び最近の動向について</li> <li>●食品衛生、食中毒予防について</li> <li>●地域で活躍する食品関連事業者の取組み(事例発表)</li> <li>●意見交換</li> </ul> <p>※1月21日開催分は「食品表示・安全に関する講習会」と連携して実施(県民生活課と共催)</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●愛媛県の食の安全安心に関する取組みについて</li> <li>●事例発表「水産高校における愛媛県HACCP制度の取組み」</li> <li>●講演「表示規制における消費者と事業者」</li> <li>●講演に基づく対談</li> </ul>
【平成26年度取組みの評価】	県内5か所で開催して、参加者との意見交換等を行い、リスコムコミュニケーションの推進に努めた。内容は、行政や食品関連事業者の取組みのほか、1月21日開催分は、食品表示・安全をテーマに県民生活課と連携して実施するなど、効果的な実施に努めた。推進指標の開催回数、参加者数は5回568名で、回数は前年度を下回ったものの、参加者数は目標以上の実績となった。 今後も継続して実施し、より多くの県民が参加できるように更なる内容の充実を図る。

基本施策Ⅲ	関係者間の相互理解と協働の推進									
施策の方向15	消費者・食品関連事業者との情報・意見交換の実施									
具体的な取り組み	(64)消費者との意見交換会の実施等 消費者による製造施設等の見学及び意見交換等を実施し、関係者相互間の理解促進を図ります。また、食品関連事業者が自主的に実施する施設見学会等、消費者との交流を促進する事業を支援します。									
①概要	県食品衛生協会に委託して実施している「消費者の一日 食品衛生監視員事業」について、今後にも実施し、消費者からの意見を業務に反映する。 また、事業者が実施する工場見学等について、県民へえひめ食の安全・安心ホームページ等で情報提供することなどにより支援を行う。									
②推進指標	【消費者との意見交換会の実施回数、参加者数】(松山市保健所分を除く) 回数・人数の維持により活動状況の指標となる。									
③用語解説	—									

年度	(H20)	(H21)	H22	H23	H24	H25	H26
目標			—	—	9回 350名	—	12回 400名
実績	9回 328名	12回 410名	12回 419名	12回 394名	12回 392名	12回 384名	11回 295名

①概要	県食品衛生協会に委託して実施している「消費者の一日 食品衛生監視員事業」について、今後にも実施し、消費者からの意見を業務に反映する。 また、事業者が実施する工場見学等について、県民へえひめ食の安全・安心ホームページ等で情報提供することなどにより支援を行う。
②推進指標	【消費者との意見交換会の実施回数、参加者数】(松山市保健所分を除く) 回数・人数の維持により活動状況の指標となる。
③用語解説	—
【平成26年度事業実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●食品営業自主管理強化事業費(松山市保健所分を除く)(業務衛生課)</li> <li>●県食品衛生協会に委託して実施している「消費者の一日 食品衛生監視員事業」等により、消費者による製造施設等の見学及び意見交換等を実施し、関係者相互間の理解促進を図った。</li> <li>●一日 食品衛生監視員事業(実施回数11回 参加人数295名)</li> </ul>
【平成26年度取組みの評価】	26年度も、県内各地で上記事業を実施し、消費者と食品関連事業者の相互理解を促進するとともに、事業者の改善意欲を促進することができ、食の安全安心の確保のための共通理解と協働の推進に役立てることができた。

基本施策Ⅲ	関係者間の相互理解と協働の推進									
施策の方向15	消費者・食品関連事業者との情報・意見交換の実施									
具体的な取り組み	(65)リスクコミュニケーションの育成等 食に関する様々な立場や相互の十分な意思疎通を図るため、リスクコミュニケーションを支援、仲介できる人材を育成し、活用します。									
①概要	リスクコミュニケーションを推進する上で重要なリスクコミュニケーション(関係機関からの情報などを理解し、参加者に情報を分かりやすく伝える人)や司会進行のできる人材を育成する。									
②推進指標	—									
③用語解説	—									
【平成26年度事業実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●食の安全・安心推進事業費(業務衛生課)</li> <li>●内閣府食品安全委員会が主催する地方自治体職員向け学習会に参加した。 5月9日 1名 (内容)○食品安全のリスクアナリシスについて ○残留農薬について ○食品安全に関するトピックス 「冷凍食品へのマラチオン混入事件について」</li> </ul>									
【平成26年度取組みの評価】	リスクコミュニケーションを推進する内閣府食品安全委員会の学習会に職員を派遣し、リスクコミュニケーションについて学んだ。 今後も各種講習会等で効果的な運営ができるよう職員の資質向上、リスクコミュニケーション育成に努め、協働推進につなげていく。									

基本施策Ⅲ	関係者間の相互理解と協働の推進
施策の方向16	県民の意見の反映
具体的な取組み	
<b>(66)パブリックコメントの実施</b>	
愛媛県食品衛生監視指導計画など食品等に関する県の重要な計画については、パブリックコメントを実施し、広く県民の意見を取り入れます。	
①概要	重要な計画等を策定する際には、パブリック・コメントにより広く県民からの意見を募集し、必要に応じて修正等に反映させる。
②推進指標	—
③用語解説	—

【平成26年度事業実施状況】	
・第2次愛媛県食の安全安心の推進に関する計画の策定に当たりパブリック・コメントを実施した。 第2次愛媛県食の安全安心の推進に関する計画案(意見募集期間：平成27年1月29日～2月27日)	
実施結果：意見なし	
・平成27年度愛媛県食品衛生監視指導計画の策定に当たりパブリック・コメントを実施した。 食品衛生監視指導計画案(意見募集期間：平成27年2月10日～3月11日)	
実施結果：提出意見なし	
【平成26年度取組みの評価】	
26年度も食の安全安心に関する重要な計画についてパブリック・コメントを実施し、県民意見の反映に努めた。 今後も重要な計画を作成する際には、パブリック・コメントを実施するほか、各種事業の中で県民の声を拾い反映させていく。	

基本施策Ⅲ	関係者間の相互理解と協働の推進																								
施策の方向16	県民の意見の反映																								
具体的な取組み																									
<b>(67)アンケート等による県民の意識の把握</b>																									
食の安全安心に関する県民の意識を把握するため、県民へのアンケート等を実施し、今後の施策に反映させます。																									
①概要	県民講座等県民が集まるイベント時等にアンケートを実施し、その結果を施策の決定等に反映させる。																								
②推進指標																									
【食の安全安心に関するアンケート協力者数】																									
アンケート協力者数の増加を図り、より多くの県民の意見を把握し施策に反映させる。																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>(H20)</th> <th>(H21)</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>400名</td> <td>—</td> <td>500名</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>278名</td> <td>502名</td> <td>521名</td> <td>411名</td> <td>383名</td> <td>359名</td> <td>429名</td> </tr> </tbody> </table>	年度	(H20)	(H21)	H22	H23	H24	H25	H26	目標	—	—	—	—	400名	—	500名	実績	278名	502名	521名	411名	383名	359名	429名
年度	(H20)	(H21)	H22	H23	H24	H25	H26																		
目標	—	—	—	—	400名	—	500名																		
実績	278名	502名	521名	411名	383名	359名	429名																		
③用語解説	—																								

【平成26年度事業実施状況】	
●食の安全・安心推進事業(薬務衛生課)	
・食の安全・安心県民講座において「食の安全・安心に関するアンケート」を実施した。	
【主な結果(各項目上位3つ)】	
○食品等の安全性について、不安に感じていることは。	
1.食中毒	
2.輸入食品の安全性	
3.偽装表示	
○食品等の安全性について、どのような点を基準に判断しているか。	
1.製造者・生産者の信頼性	
2.国内産であること	
3.消費期限・賞味期限	
○原材料の生産から食品の消費までの段階の中で、食品の安全性確保のために、最も重要だと考えるのはどの段階か。	
1.食品の製造や加工	
2.農畜水産物の生産(作物の栽培、家畜の飼育など)	
3.飲食店での調理(給食施設なども含む)	
【平成26年度取組みの評価】	
食の安全・安心県民講座においてアンケートを実施し、県民意見の把握に努めるとともに、第2次愛媛県食の安全安心の推進に関する計画や愛媛県食品衛生監視指導計画の策定の参考とするなど、施策に反映した。 推進指標の「アンケート協力者数」については、参加者(568名)に協力を呼びかけたものの、429名で目標に届かなかったが、県民の声を施策に反映するため、今後もアンケートを実施して、県民意識の把握に努める。	